



柴田勝家

—北庄に掛けた夢とプライド—

●会場 企画展示室(2階)

●会期 平成18年3月25日(土)～5月7日(日)



紙本著色 柴田勝家画像(千葉市個人蔵、当館寄託・保管)

わが國中世の権威と権力をことごとく否定し、厳格な自らの正義によって近世日本の幕を開いた織田信長。

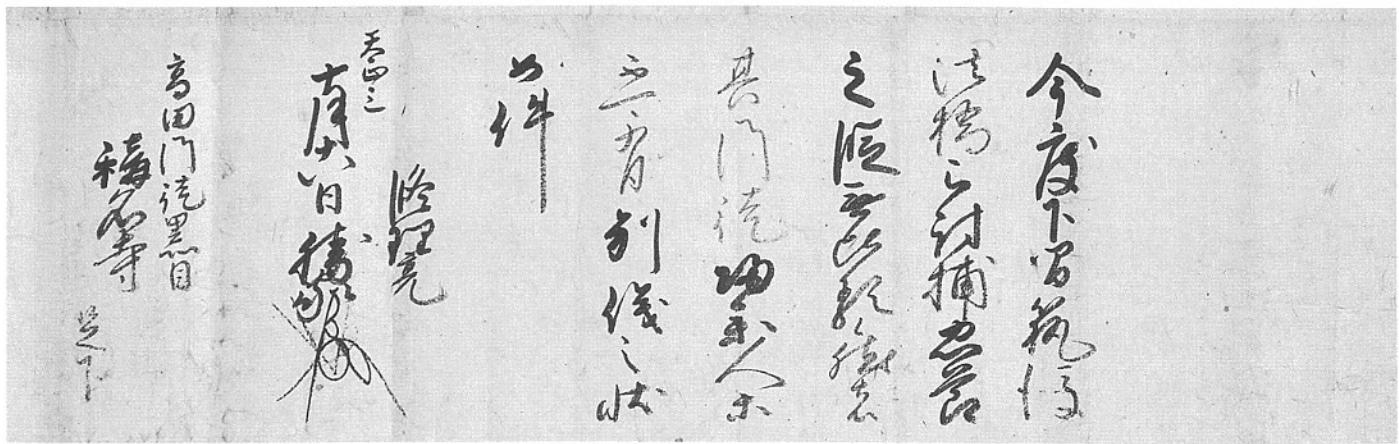
その信長の重臣で最も勇猛な武将として知られた柴田勝家。

越前北庄城主・柴田勝家は、現代の福井の繁栄と都市の歴史的基盤を創った武勇談多い武将です。

勝家が北庄を起点として天下に何を夢みたか。

そして勝家がその最期に見せた戦国武将のプライドというものを関係する六十余点もの資料で展観し、

みなさんと一緒に考えてみます。



⑩柴田勝家感状 天正3年(1575)10月18日付 称名寺蔵

二 天下の名将 —織田信長の重臣として—

柴田勝家の名前が初めて史料に登場するのは織田信長の父、信秀が亡くなった際の『信長公記』の記事である。それによると、この時勝家は、信長の弟でのちに信長によって滅ぼされる信行の家臣筆頭として記されている。弘治2年(1556)信行謀反に従った勝家は信長を除こうとしたが失敗。信長が信行を赦免したことにより勝家も信長に謝罪した。再度信行が謀反した際は、信長と通じた。信行暗殺の後は信長の重臣に加えられ、

桶狭間の戦い、墨俣攻め、犬山城攻略、六角承禎の箕作城攻略等で相当の武功をたて信長の信頼を得たようである。

元亀元年(1570)長光寺籠城のおり「瓶割り柴田」の異名をとる。翌年伊勢長島一向一揆攻めで負傷したが、朝倉・浅井攻略、長篠の戦いでも武功があった。

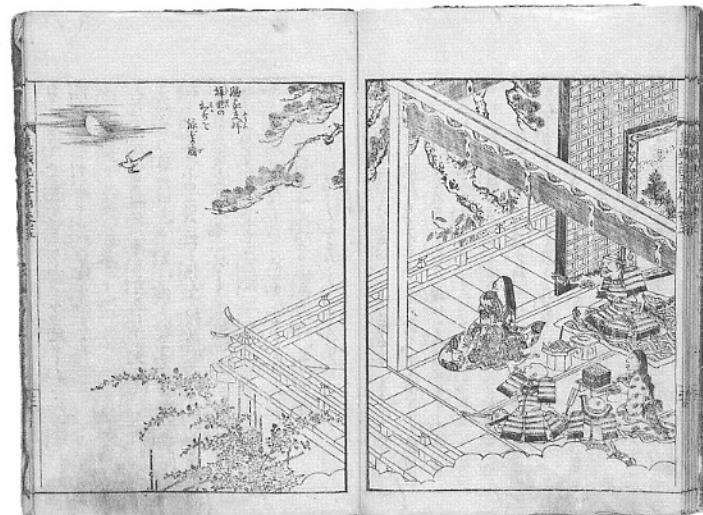
越前一向一揆に対しては信長の命により徹底的な討伐を行った。

二 北庄城の建設と治政

天正3年(1575)9月、一向一揆をほぼ平定した信長は、勝家に越前北庄を与えた。しかし、信長は九か条にわたる「掟」を勝家に示し、勝家の目付役として前田利家ら府中三人衆を置いて治政に当たらせている。勝家は、越前において豊臣秀吉より早くに刀狩(刀ざらえ)を行ったり「安堵状」「掟書」「判物」の発行により民政の安定をはかった。また居城「北庄城」築城と城下町の建設、北陸街道の拡幅、舟橋の架橋、検地等精力的に領内の治世に着手した。産業面でも絹織物・越前和紙の復興に努力し、外国貿易にも関心を寄せた。城下には宣教師ルイス・フロイスも訪れている。



⑪悲しみのマリア像
16世紀中頃 画布油彩 大阪 南蛮文化館蔵



⑫「勝家夫婦辞世の和歌を詠する図」(『絵本太閤記』より) 鴉鷺文庫蔵

三 北庄城の黄昏

本能寺の変で信長が明智光秀に討たれた。そして弔い合戦である山崎合戦より八ヶ月後の天正11年(1583)3月、信長没後の勢力争いで対立していた羽柴秀吉と勝家はついに近江(滋賀県)湖北の戸ヶ岳で合戦に及んだ。結果、柴田軍は大敗し、北庄へ敗走、籠城した。追撃してきた秀吉は23日足羽山に布陣し諸隊に北庄城一斉攻撃を命じた。

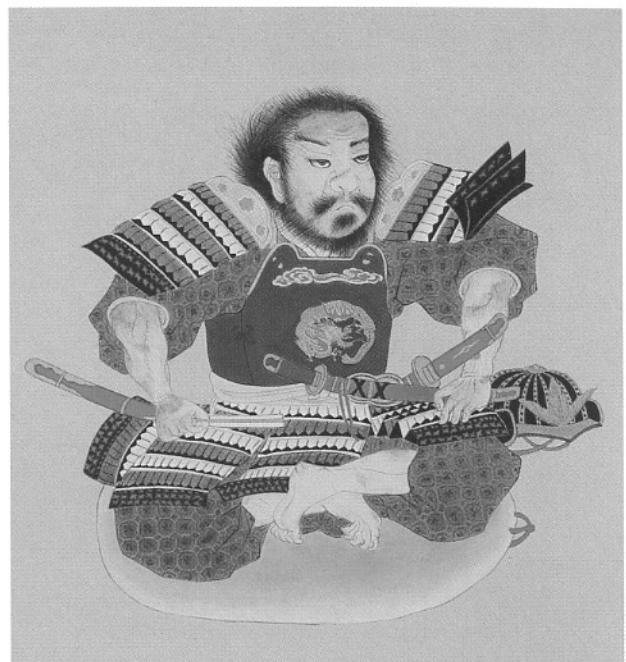
勝家は夫人お市(お谷)の方と一族の子女を刺した後剖腹し、その生涯を閉じた。『柴田勝家公始末記』によると勝家62歳、お市37歳であったと伝える。

四 よみがえった勝家画像

平成5年柴田勝家の最期の姿を描いたと伝えられる柴田勝家肖像画の原本の存在が明らかとなった。それから十年余勝家像がポピュラーな存在となった中で、画像の胸部分など剃離が惜しまれていた部分を補う粉本の存在がわかった。これらをもとに滋賀県立安土城考古博物館で画像を忠実に復元し、このほど完成了。北庄落城からおよそ四百年を経て姿を現した「平成の勝家像」である。



④「柴田勝家像粉本」(『日本百将図粉本』より) 鴉鷺文庫蔵



⑤「柴田勝家復元模写像」富沢千砂子筆 滋賀県立安土城考古博物館蔵

柴田勝家年表

天文3年(1534)

5月、織田信長生誕。

天文18年(1549)～同21年の間。

信長家督相続す。

柴田勝家、信長の弟、信行家老として初めて史料に登場する。

弘治2年(1556)

8月、織田信行(信長の弟)、信長に背く。

弘治3年(1557)

11月、柴田勝家、信行の謀反を信長に密告。信行、清須(州)城で信長に誘殺される。(永禄元年説もある。)

勝家、信長直参となる。

永禄6年(1563)

ルイス・フロイス来日。お市の方、浅井長政に嫁す。

永禄12年(1569)

堺でフロイスと初対面。信長、フロイスに布教を許す。

元亀元年(1570)

4月、信長、朝倉攻め着手。浅井長政の離反により退京。六角承禎の軍に囮まれ「瓶割柴田」の異名をとる。

6月、織田・徳川連合軍、姫川合戦で、浅井・朝倉軍を破る。

元亀2年(1571)

伊勢・長島一向一揆攻めで負傷。

信長、朝倉義景に与したとして、比叡山を焼き討ちにする。

天正元年(1573)

8月、朝倉義景を一乗谷に破る。義景自害。小谷城陥落、浅井久政・長政父子自害、ここに朝倉・浅井氏滅亡。お市の方、三娘と共に信長に身を寄せる。

天正2年(1574)

9月、長島一向一揆平定。このころ越前一向一揆決起。

天正3年(1575)

9月2日、信長より越前北庄を与えられる。

信長越前八郡のうちより、今立、南条二郡と丹生郡の一部を前田利家・佐々成政・不破光治の「府中三人衆」に支配させる。刀狩(刀さらえ)実施。

天正4年(1576)

北庄城築城に着手。越前一向一揆をほぼ平定。

天正5年(1577)

8月、信長、上杉謙信に備え、柴田勝家を加賀に派遣。

天正7年(1579)

高山ダリヨ、北庄に送られる。

天正8年(1580)

閏3月5日、信長、本願寺と和議を結ぶ。

同月、勝家は和議を無視して北加賀攻略の先鋒を甥、佐久間盛政に命じる。

天正10年(1582)

6月2日、本能寺の変。明智光秀に襲われ信長自害。

6月13日、秀吉、中国大返し、山崎合戦で光秀を撃破。

勝家、上杉景勝と対陣、本能寺の変時即座に動けず。

6月27日、清洲会議。

7月頃、岐阜城において勝家・お市祝言をあげ、北庄城に帰る。

12月9日、秀吉、勝家との和議を破り、近江に出兵。勝家の養子、勝豊の長浜城を包囲、勝豊を降伏させる。

天正11年(1583)

1月、滝川一益、勝家に与して北伊勢で戦闘を開始。

3月12日、勝家、玄蕃城に着陣。

4月21日、賤ヶ岳七本槍活躍。

勝家、毛受兄弟に馬印を与える、北庄へ敗走。

毛受家照、勝家の身代わりとなり討死。

4月23日、秀吉、北庄城包囲。

4月24日、勝家、お市の方を殺害して火を放ち自害。浅井三娘北庄城脱出。

秀吉、小早川隆景らに北陸平定を知らせる。

4月27日、北庄城主に丹羽長秀を任じる。

慶長3年(1598)

豊臣秀吉没。

展示品一覧

(資料保護のため会期中一部陳列替えがあります。また、照度を調整しています。)

◆Prologo

- 「柴田勝家－北庄に掛けた夢とプライドー」(本展タイトル)の書幅 平山郁夫筆 紙本墨書き 平成十七年(2005) 一幅 当館蔵
- 柴田勝家像(『国史画帖大和様』所載) 昭和十年(1935)八月 一冊 当館蔵
- 柴田勝家像(『日本百将伝』下巻より) 版元袋綴 一部二冊本のうち下巻一冊 滋賀県立安土城考古博物館蔵
- 柴田勝家像 石井溪邨筆 絹本着色 平成元年(1989) 一幅 個人蔵(当館寄託・保管)

◆天下の名将 —織田信長の重臣として—

- 織田信長軍陣影 紙本著色 江戸時代 一幅 滋賀 捻見寺蔵
- 木瓜桐文絹羅紗陣羽織 桃山時代 一領 大阪城天守閣蔵
- 大和芝村藩主織田家系図 紙本墨書き 江戸時代 一巻 名古屋市 個人蔵
- 安土記 堅帳 江戸時代 三冊揃 滋賀県立安土城考古博物館蔵
- 絵本太閤記 堅帳・版本 寛政九年(1797)序・享和二年(1802)六月刊 全八十冊のうち八冊 滋賀県立安土城考古博物館蔵
- 朝倉義景像 絹本着色 一幅 福井市 心月寺蔵(当館寄託・保管)
- 朝倉義景像 一幅 福井市 心月寺蔵
- 浅井長政像 並付属覚書 絹本着色 江戸時代中期 各一幅 長浜市立長浜城歴史博物館蔵
- 長巻 無銘・所持銘「左衛門督義景所持」 室町時代中期 一口 福井市 心月寺蔵(当館寄託・保管)
- 刀 無銘・伝朝倉貞景・義景所持 鎌倉時代末期 一口 福井市 心月寺蔵(当館寄託・保管)
- 伝毛屋猪之助所用兜 桃山時代 一頭 福井市 毛谷黒龍神社
- 武田三将図 絹本着色 江戸時代 一幅 東京都 個人蔵(当館寄託・保管)
- 長條合戦図屏風 江戸時代後期 六曲一隻 個人蔵
- 山県昌景所用 狩々絆指物 桃山時代 一本 東京都 個人蔵(当館寄託・保管)
- 柴田勝家感状 天正三年(1575)十月十八日付 二通一巻のうち一通 坂井市(三国)黒目称名寺蔵
- 柴田勝家判物 天正四年(1576)六月二十八日付 二通の一巻のうち一通 坂井市(三国)黒目称名寺蔵
- 小丸城跡出土文字瓦 丸瓦 天正四年(1576) 二枚 越前市(武生)味真野史跡保存会蔵
- 『越前國相越記』 天正三年(1575) 一冊 横帖袋綴、墨付十一枚 個人蔵(当館寄託・保管)

◆北庄城の建設と治政

- 府中三人衆連署状 天正三年(1575)十月十二日付 一通 越前市(今立)大瀧神社蔵
- 柴田勝家判物(劍神社文書) 織田神社中宛 元折紙(楮紙風) 天正三年(1575)十一月五日付 一通 越前町(織田)劍神社蔵
- 柴田勝家定書 称念寺光明院并門前宛 天正三年(1575)十一月日付 一通 坂井市(丸岡)長崎 称念寺蔵
- 柴田勝豊書状 墓谷佐一郎宛 天正八年(1580)七月十六日付 一幅 長浜市立長浜城歴史博物館蔵
- 伝北庄城出土の石鬼 狩谷石製 三枚 福井市 西光寺蔵
- 羽柴(豊臣)秀吉書状 小早川隆景宛 毛利家文書 天正十五年(1587)五月十五日付 一巻山口 防府市 毛利博物館蔵
- 北庄城跡出土石瓦 三点 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター蔵
- ルイス・フロイス書簡 一五八四年一月二〇日付(複製) 一冊 原本=奈良 天理図書館蔵 福井市公園課蔵 北庄城址資料館保管
- 悲しみのマリア像 画布油彩、舶載 十六世紀中頃 一額 大阪 南蛮文化館蔵
- 神明神社縁起書 一巻 福井市 神明神社蔵
- 舟橋鉄鎖 一筋 当館蔵
- 舟橋覚書(「吉品公御代御秘藏御書体」のうち) 一枚 松平文庫蔵 福井県立図書館保管
- 柴田神社石燈籠奉納主意書 明治四十二年(1909)六月 一通 越前町(朝日)鶴鳶文庫蔵
- 織田神社申状 柴田勝定宛 天正四年(1576)正月付 一通 越前町(織田)劍神社蔵

※◎印は国指定重要文化財、□印は県指定文化財、○印は市指定文化財を表します。

- 柴田勝家判物 橋屋三郎左衛門尉宛 天正四年(1576)九月十一日付 一通 福井県立歴史博物館蔵
- 柴田勝家黒印状 天正四年(1546)十一月十六日付 一通 福井県立歴史博物館蔵
- 羽柴(豊臣)秀吉書状 中川清秀宛 天正十年(1582)六月十日付 一通 越前市(武生)宇野茶道美術館蔵

◆北庄の黄昏

- 羽柴(豊臣)秀吉書状写 天正十年(1582)十月十八日付 一巻 滋賀県立安土城考古博物館蔵
- 織田信孝書状 堀秀政宛 天正十一年(1583)後正月十二日付 一幅 岐阜市歴史博物館蔵
- 柴田勝家書状 柴田勝豊宛 天正十一年(1583)閏正月二十九日付 一幅 大阪城天守閣蔵
- 羽柴(豊臣)秀吉書状 天正十一年(1583)卯月三日付 一幅 長浜市立長浜城歴史博物館蔵
- 豊臣秀吉像 伝狩野光信筆 絹本着色 江戸時代 一幅 大阪城天守閣蔵
- 豊臣秀吉像 梅戸在貞筆 絹本着色 近代(大正・昭和) 一幅 敦賀市立博物館蔵
- 貪獣争闘文綴陣羽織(複製) 一領 原本=京都 高台寺蔵 大阪城天守閣蔵
- 賤ヶ岳合戦図屏風 紙本著色 江戸時代 六曲一双 勝山城博物館蔵
- 賤ヶ岳合戦図屏風 紙本著色 江戸時代 六曲一双 長浜市立長浜城歴史博物館蔵
- 賤ヶ岳七本槍 紙本著色 江戸時代後期 一幅 名古屋市秀吉清正記念館蔵
- 伝柴田勝家所用金幣馬印 一本 福井市 西光寺蔵
- 『豊臣秀吉譜』 林羅山著 和綴木版本 明暦四年(1658) 三冊 当館蔵
- 「勝家夫婦辞世の和歌を詠ずる図」(『絵本太閤記』より) 木版本 一冊 越前町(朝日)鶴鳶文庫蔵
- 浅井長政夫人織田氏(お市の方・お谷の方・秀子)像 紙本著色 江戸時代 一幅 滋賀県立安土城考古博物館蔵
- 浅井長政夫人織田氏(お市の方)像(模本) 紙本白描 絵一幅 当館蔵(菱川師福翁記念文庫)
- 淀殿像(模本) 紙本著色 一幅 東京大学史料編纂所蔵
- 伝淀殿所用の扇子 桃山時代 一握 越前市(武生)宇野茶道美術館蔵
- 崇源院(徳川秀忠夫人浅井氏江)像(模本) 紙本著色 一幅 東京大学史料編纂所蔵
- 常高院(京極高次夫人・初・藤子)像 絹本着色 江戸時代初期 一幅 小浜市 常高寺蔵
- 羽柴(豊臣)秀吉禁制 天正十一年(1583)四月日付 一通 福井県立歴史博物館蔵
- 羽柴(豊臣)秀吉朱印状 山岡景隆・脇坂安治宛 天正十一年(1583)カ 折紙 一幅 滋賀県立安土城考古博物館蔵
- 丹羽長秀像(模本) 紙本著色 原本=桃山時代 一幅 東京大学史料編纂所蔵

◆よみがえった勝家画像

- 柴田勝家像 紙本著色 桃山時代～江戸時代初期 一額 千葉市 個人蔵(当館寄託・保管)
- 柴田勝家像粉本(『日本百将図』粉本より) 紙本白描 一巻 越前町(朝日)鶴鳶文庫蔵
- 柴田勝家復元模写像 富澤千砂子筆 紙本著色 平成十七年(2005)三月 一幅 原本=千葉市 個人蔵 滋賀県立安土城考古博物館蔵
- 柳川柴田家譜「歴代表」 明治時代 一綴 千葉県 個人蔵

※資料保護のため下記の列品について展示期間を限定します。

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 10 重要文化財 朝倉義景像 | 3月25日(土)～4月7日(金) |
| 11 朝倉義景像(模本) | 4月8日(土)～5月7日(日) |
| 29 重要文化財 羽柴(豊臣)秀吉書状 小早川隆景宛 | 3月25日(土)～4月7日(金) |
| 48 賤ヶ岳合戦図屏風(勝山城本) | 3月25日(土)～4月14日(金) |
| 49 賤ヶ岳合戦図屏風(長浜城本) | 4月15日(土)～5月7日(日) |
| 56 淀殿像・58 崇源院像は2週間のみ展示します。 | |
| 59 福井県指定文化財 常高院像 | 3月25日(土)～4月28日(金) |

また、絵画資料については展示ケースの照度を100ルクス以下にとどめています。

【シンポジウム】柴田勝家画像について－その伝来と復元－

日 時:平成18年4月22日(土) 午後2:00～午後3:30

場 所:当館講堂

パネラー:柴田勝次郎(柳川柴田家当主)

富澤千砂子(六法美術代表取締役・柴田勝家画像復元模写作家)

高木 叙子(滋賀県立安土城考古博物館主任・学芸員)

司会・報告:角鹿 尚計(当館学芸員)

●聴講無料

見どころ講座「柴田勝家入門」

日 時:平成18年4月8日(土)

午後2:00～午後3:30

場 所:当館講堂(2階)

定員:60人 当日受付

展示解説シート No.18 平成18年3月25日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3-12-1

電話(0776)21-0489 FAX(0776)21-1489

担当 角鹿 尚計

制作/株式会社インフォマーシャル